

これからの大学図書館について考える - そのための視点と手法 -

講 師:井上創造先生(九州工業大学)

情報社会の進展、特にネットワーク系メディアの登場に伴い「図書館」の社会的機能縮小の必然性が論じられています(*1)。一方で、そのような中、大学図書館では、電子的図書館機能を充実・強化することで、一定、新たな存立意義を確立しようとしつつあります。図書館が成長する有機体として、さらに成長し続けるためには、そろそろ次の一手、新たな付加価値を模索する時期にきているのではないでしょうか。これからの大学図書館について、どのように考えればよいか。そのために押さえておくべき視点や取りうるべき手法など、その考え方について、今回は考えてみたいと思います。

(*1) 海野敏, 戸田愼一. "「図書館」の社会的機能縮小の必然性:情報流通の構造変化と図書館の存立意義". 電子図書館:デジタル情報の流通と図書館の未来.日本図書館情報学会研究委員会編. 東京, 勉誠出版, 2001.11, p. 11-45, (シリーズ・図書館情報学のフロンティア, No.1).

日時

2009年11月21日(土)

13:30~16:45 (13:15~受付開始)

会場

京都市国際交流会館第2会議室

(地下鉄東西線 蹴上駅下車 徒歩6分)

参加費:大図研会員は無料 (非会員は500円)

タイムスケジュール

13:30~13:35 開会のあいさつ

13:35~15:05 ご講演

15:05~15:15 休憩

15:15~16:15 グループワーク

16:15~16:45 発表

終了後、懇親会を予定しています。

申込方法:<u>事前申込制とさせていただきます。11月19日(木)までに、次のいずれかの方法でお申込ください。</u> 申込多数の場合、会場の収容人数を考慮し、早めに締め切らせていただくことがあります。

・大図研京都ワンディセミナー申込フォーム

(http://www009.upp.so-net.ne.jp/dtkk/event/20091121.htm)から申し込みください。

・支部委員会(dtkk@rg7.so-net.ne.jp)宛に(1)お名前、(2)ご所属、(3)大図研の会員であるか否か、(4)懇親会に参加するか否か、(5)E-mail をお知らせください。

DTKK DTKK DTKK DTKK

主催: 大学図書館問題研究会 京都支部 問い合わせ: 京都支部 支部委員会(dtkk@rg7.so-net.ne.jp)